

令和6年2月25日

271号

北の療育

水取歌碑
野がどつ
もろの色は
からまつは
流じとて

● **特集** 新しい年に想う — 職員からのメッセージ —

北の療育 271号

● 新年巻頭言

- ・ 龍が昇天するがごとき勢いをもって、皆さんと共に明るい未来を切り開いていきたいとお願いいたします。 ————— 丸山 静男 — 1
-

● 特集 新しい年に想う

- ～職員からのメッセージ～ ————— 7
-

● グラビア・今年も会いたい、あの笑顔

- ～各事業所から、みなさんへ届けます～ ————— 18



● サンルーム・秋から冬の療育活動

- ・ 昨年の療育活動を振り返って～再開した宿泊旅行～ — 北海道療育園 — 高橋 啓太 — 23
・ 利用者さんの心も体もほっと温まる療育活動 — 美幌療育病院 — 嶋田 明美 — 25
-

● 旭川通園だより

- ・ 笑顔いっぱいのクリスマス会 ————— 鈴木 玲子 — 27
-

● ミャンマーから来日した特定技能生さんにインタビュー！

- ・ 働く仲間！ようこそ美幌療育病院へ ————— 松田 紀子 — 29
-

● らせん

- ・ 地域・在宅チーム～通園事業所・訪問看護でのリハビリ編～ — 吉田 雅紀 — 31
-

■ ワークセンターぴぼろ

● 新年を迎えて

- ・ ワークセンターぴぼろ・あすなる保護者会 ————— 鈴木 将晋 — 33

● あすなる通信

- ・ ぴぼろ20周年・新町あすなる統合10周年開設記念式 他 — 内田 久勝 — 34

● ぴぼろだより

- ・ 新型コロナウイルスワクチン予防接種、金時豆の選別作業受注 他 — 浦野 紘史 — 35
-

CONTENTS

2024.2

● つつじの里だより	
・活動紹介	吉田 秀吉 — 37
● 令和5年度 自閉症スペクトラムトピックセミナーの開催	吉田 秀吉 — 39
● みち	
・令和6年新年にあたって	齋藤 忠義 — 43
特定非営利活動法人 とらいあんぐる事務局通信	
・年頭のごあいさつ	齋藤 寛 — 47
美幌療育病院父母の会事務局通信	
・自閉症セミナーのことなど	植村 規 — 49
つつじの里利用者と歩む家族の会事務局通信	
● 令和5年の法人・各事業所 主な出来事	55
● ご厚意ありがとうございます	
・寄付金一覧・物品寄贈一覧 他	62
・職員異動一覧	63

インフォメーション

・謹賀新年 社会福祉法人北海道療育園	5
・作業療法作品の紹介「富士山」第二療育課 山崎美和さん	22
・コラム 古川さんと堀江さんの本を読む/蒔田明嗣	41
・法人名誉顧問の安倍洋子さんからお菓子の詰め合わせが届きました！	46
・セイコーマート様からクリスマスケーキのプレゼント！	
—サンタさんから利用者さんへ—	46
・中央競馬馬主社会福祉財団様より助成を受け介護入浴装置を購入	51
・イオン西店様から入浴剤の寄贈を受ける！	51
・日本財団様より助成を受け、多床室医療ベッド等を購入	52
・ブックスタンド「ケアのたましい」アーサー・クラインマン著（福村出版）	53
・サカイトシノリ先生と原田和香さんが来園、	
診療棟の各室・天井の明り取りに絵を描いていただきました！	61
・あかりロード点灯式が行われました！	61
・冬の風景	65

表紙Photo 春光台公園 新年の朝、若山牧水の歌碑にかかる雪/蒔田明嗣

※大正15年、歌人斉藤劉を訪ねて来旭した牧水が春光台で詠んだ8首の中の1首。

「野ぶどうの／もみぢの色の深けれや／からまつはまだ／染むとせなくに」(平成19年建立)



龍が昇天するがごとき勢いをもって、
皆さんと共に明るい未来を、
切り開いていきたいとお願いいたします。

丸山 静男

皆さん、明けましておめでとうございます。
今年も宜しくお願い致します。

今年の干支は甲辰（きのえ・たつ）です。

この年は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良い年であるとされています。私達もそれにあやかり、ご利用者様ともども互いの成長をみつめ、課題を整え、困難な時代を共に生きていきたいものと思います。

昨年も国内外ともに明るいニュースは少なく、特に道内がそうであった様に思われ、残念な事でありました。ために、いろいろと複雑な思いが交錯するなかで新年を迎えられた方々もおられたのではと思います。

加えて年明け早々の元日には、令和六年能登半島地震の発生により、石川をはじめ、富山、福井の北陸三県と新潟県が大きな被害を受け、日々被災者の数も増加し、大震災の様相を呈しております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、これ以上の被害の拡大のなきようにと唯々お祈りするばかりです。

さて、四年間にわたり世界を混迷の極に陥れてきた新型コロナウイルス感染症も、ほんの少し、鎮静化？の様相をみせ、これを待ちかねたかのように、世の中は経済、ケイザイの大合唱となり、五月に感染法上の取り扱いが二類相当から五類相当へと転換されました。

当然のごとく、やれ観光だインバウンドだと、にぎやかになり、各種スポーツ観戦も応援の大合唱につつまれ

ました。しかし実際は秋口まで感染者数、入院・重症者数の増加は続き、その対応のため、沖縄では一時事実上の医療崩壊状態におちいり、東京はじめ各地で従前とあまり変わらぬ医療ひっ迫状況に苦しんだ事実を忘れてはならないと思います。しかも尚、消長は繰り返されていると指摘されています。

実際に五月の変更以降も全国の医療、福祉、介護施設等の多くは、それまでとほとんど変わらぬ感染対策を実施してきたところであり、当法人でも全職員の協力のもと、ご利用者、保護者の皆様には随分とご不便をかけたつても、全国屈指のキメ細かな対策を今日まで継続してきたところと思っております。その甲斐あって法人内の感染も、少数の発生報告はありましたが、結果的には大事に至らず今日に至ったことは、真にありがたいことであり、あらためて法人全職員の皆さんの努力に敬意と感謝の気持ちを表する次第です。

さて、昨年当法人が迎えた最大の慶事と言えます、美幌療育病院とワークセンターびぼろがめでたく開院二〇周年を祝うことができた、という事であります。式典には旭川から多くの方々が応援に駆けつけて下さいました。真にご苦勞様でした。開院以来、美幌はその立地条件のゆえもあつてか、スタッフの確保はじめ運営は大変難しいことが続きましたが、美幌職員の努力と旭川からの全職種にわたる適宜の応援のもと発展し、今日ではオホーツク圏域のみならず、根室、釧路地域にまたがる中核施設に成長してきましたのであります。ここに開設以来今日までご貢献頂いた歴代法人全職員の皆様に心より御礼申し上げる次第です。

昨年暮れの国立社会保障・人口問題研究所の発表によれば、二〇五〇年道民人口は二〇二〇年の五二二万人から三八二万人に、実に一四〇万人減少。札幌市は一九七万三千人から一七四万五千人に二二万八千人減少、旭川市は三二万九千人から二三万六千人に九万三千人減少、美幌町は一万八千七百人から九千八百人にほぼ半減とそれぞれ大きく減少し、道民の半数以上（五四・五％）が札幌圏住まいになり一極集中が更に加速するということです。とにかく三〇年後の人口が二〇年を上回るのは東京都だけで、二・五％増の一千四四〇万人となるそうです。

こういった状況下で、すでに全国各地で、いろいろな分野での人手不足が言われ、医療・福祉の世界に加え、介護施設のスタッフ、バス、タクシー乗務員、多くの職種の配達員などなど挙げきれない分野から悲鳴が聞こえてきます。今冬の旭川市の除排雪の遅れも運転手不足が原因の一つと聞いております。更に深刻なことは、こう

いう事態は東京都下でも既に起こりつつあるという事です。ご承知のように当法人でも昨年一月より「特定技能制度」を活用し、ミャンマーより三名の方を美幌で受け入れ、介護の分野でお働き頂くこととしました。今後一層このような形での人材確保も含め、将来の活路を開かねばと思っております。

さらには、諸物価の高騰はいよいよ止まることを知りません。しかも、この大きな要因が、コロナ感染症やウクライナへのロシアの侵略戦争に加え、ガザ・イスラエル紛争の深刻化など世界規模の問題であり、一国の努力だけでは容易に解決し得ないという状況を示しているように思われます。

この様な空前の極めて厳しい状況のなかで、私たちが直面しているのが、コロナ対策でその検討が中断の止むなきに至っていた旭川の建て替えの問題であります。

四年前中断の空白は真に大きく、この間の環境の激変は申し上げた通りであります。中断前の旭川の皆さんから頂いたアンケート結果はまことに貴重なものであり、大いに参考にして参りたいと思っております。

さらには想像を絶する人口減はくり返しになり恐縮ですが、働くスタッフの不足のみならず、ご利用を頂く方々の数的動態がどうなるか、など多方面に新たな視点からの検討を加えていかねばと思っております。そして何よりもスピードが重要であるとも痛感しているところです。他にもコロナのため中断せざるを得なかった重要な案件も含め、それらの解決に向けて真摯に対応してまいる所存です。

宜しく皆さんの叡智とご協力を頂きますようお願い致します。

あらためて本年は辰年であります。新しい年を迎えた縁起を祝い、龍が昇天するがごとき勢いをもって、皆さんと共に一丸となり、明るい未来を切り開いていきたいと念願いたします。

今年一年が素晴らしい年だった、と思えるように、法人全職員の皆さんのご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

●まるやま・しずお

社会福祉法人北海道療育園・理事長・医師